

政策環境建設常任委員会 議事次第

令和6年4月19日(金)

午後1時30分～

於：第2委員会室

1 開 会

2 所管事項の調査

「移住施策の推進について」

参考人：株式会社ツナグム 代表取締役 田村 篤史 氏

3 その他

4 閉 会

政策環境建設常任委員会 出席要求理事者名簿

【総合政策環境部】	
総合政策環境部長	岡本 孝 樹
総合政策環境部子育て社会推進監 (総合政策室長兼務)	坂野 修 一
※ 総合政策環境部副部長 (子育て社会推進監付理事兼務)	石澤 雄 一
総合政策環境部副部長	西村 敏 弘
※ 総合政策環境部技監	笠原 淳 史
※ 総合政策環境部理事 (企画統計課長事務取扱)	小谷 義 明
※ 総合政策環境部企画参事	島津 大
※ 総合政策室企画参事	宮田 聖 徳
※ 総合政策室企画参事	三嶋 孝 佳
※ 総合政策室企画参事	池永 昭 二
地域政策室長	北村 哲 也
※ 地域政策室企画参事 (北部担当)	古田 良 明
地域政策室企画参事 (中部担当)	万所 ル ミ
地域政策室企画参事 (南部担当)	吉田 宏 則
※ 政策環境総務課長	野村 宗 平
※ 万博・地域交流課長	子川 貴 司
情報政策課長	青木 耕一郎
デジタル政策推進課長	清水 直 喜
大学政策課長	河野 勉
※ 脱炭素社会推進課長	中埜 博 之
※ 循環型社会推進課長	水落 高 明
自然環境保全課長	後藤 幸 宏
※ 環境管理課長	峯 勝 之

【建設交通部】	
建設交通部長	濱田 禎
※ 建設交通部副部長 (監理課長事務取扱)	白波瀬 衛
建設交通部技監 (土木担当)	林 龍 夫
建設交通部技監 (都市・建築住宅担当)	西村 祥 一
建設交通部公営企業管理監 (建設交通部副部長併任)	曾和 良 広
建設交通部理事 (道路政策担当)	西岡 久
建設交通部理事 (交通政策担当)	八田 直 哉
建設交通部理事 (治水政策担当)	小長井 彰 祐
建設交通部理事 (指導検査課長事務取扱)	渡邊 裕 幸
監理課参事	村上 哲 司
※ 用地課長	辻川 明 徳
道路計画課長	傍島 史 宗
道路建設課長	小松 吉 則
道路管理課長	中坊 傳
交通政策課長	笹井 淳
※ 河川課長	南郷 篤
※ 砂防課長	柳原 健 二
都市計画課長	桑場 功
建築指導課長	坂本 智 生
住宅課長	内藤 良 辰
営繕課長	山崎 眞 治
※ 公営企業経営課長	西崎 吏
※ 水道政策課長	碓 正 登
※ 下水道政策課長	長谷川 広 樹

【商工労働観光部・建設交通部】	
商工労働観光部・建設交通部港湾局長*	苔口 聖 史
※ 商工労働観光部・建設交通部港湾局副局長	秋田 伸 治

*農商工労働常任委員会と同時開催の場合、同委員会に出席 (計 49 名)

※ 新任理事者
— 職名変更

政策環境建設常任委員会 出席要求理事者名簿
(4月19日)

【総合政策環境部】	
総合政策環境部副部長 (子育て社会推進監付理事兼務)	石 澤 雄 一
地域政策室長	北 村 哲 也
地域政策室企画参事 (北部担当)	古 田 良 明
地域政策室企画参事 (中部担当)	万 所 ル ミ
政策環境総務課長	野 村 宗 平

【農林水産部】	
農村振興課参事	野 田 敦 司

(計 6 名)

令和6年4月閉会中政策環境建設常任委員会

～移住施策の推進について～

京都府の移住施策について



京都府総合政策環境部地域政策室



【旧条例の内容】

移住の促進のため、空家及び耕作放棄地等の活用並びに居住環境の保全に関し、移住に係る経済的負担の軽減、空家の適切な管理等に関し必要な事項を定める

【新条例の内容(R4~)】

<ねらい>

近年の移住ニーズや働き方の多様化を受けて、様々なニーズに対応した移住を促進するとともに、移住者や関係人口が地域社会の担い手として活躍できる地域づくりを推進することにより、更なる地域の活性化を図る。

○ 移住促進及び移住者等の活躍の推進に関する基本理念を明記

①多様化する移住ニーズへの対応

③地域の特性に応じた事業展開 等

②住民との交流促進や共に活躍できる環境の整備

○ 「移住促進特別区域」の指定可能エリアの制限を緩和

○ 「移住促進特別区域」への支援措置を拡充

⇒市町村が「移住者受入・活躍応援計画」を作成した場合の支援を新設

【特 徴】

- 移住促進関連で都道府県唯一の条例を改正し、「移住促進特別区域」の指定可能エリアを拡大。
加えて、移住者のみならず、地域活性化の役割を担う関係人口も新たに支援対象として位置づけ
- 令和9年3月31日までの時限条例

従来の移住

○田舎暮らし移住

<暮らし方>

農山漁村への田舎暮らし移住
(※住民票の移動が必須)

<想定する職業>

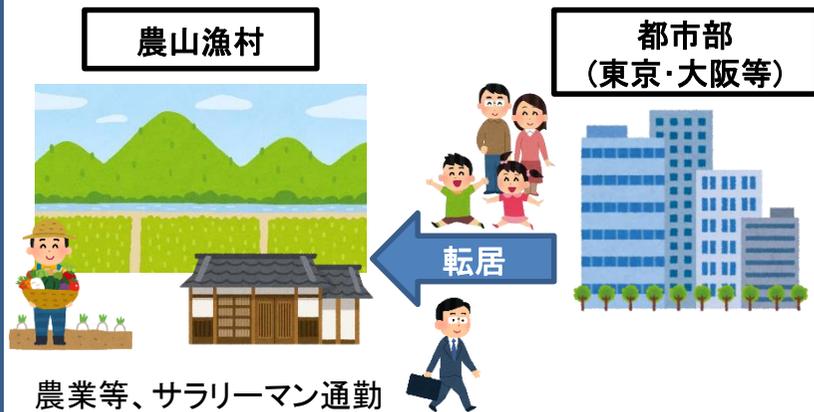
新規就農、農家家民宿経営、サラリーマンとして都市部に通勤 等

<住まい>

空家バンク物件(一軒家)

<支援策>…移住(転居)時点での金銭的支援がメイン

- ・空家バンクの運営(物件の紹介)
- ・空家の改修費の補助
- ・移住支援金
- ・地域自治会等の受入体制づくりの支援 等



新たな移住

○多様なニーズに対応した移住

<暮らし方>

- ・地方都市の市街地への移住
- ・二地域居住等、移住しないまでも地域の担い手として地域と関わる関係人口
(※住民票の移動がなくとも、地域の担い手となる場合対象)

<想定する職業>

起業創業、移住前の仕事をテレワークにて実施、サテライトオフィス勤務、地域企業への就業、隣接地域への新規就農 等

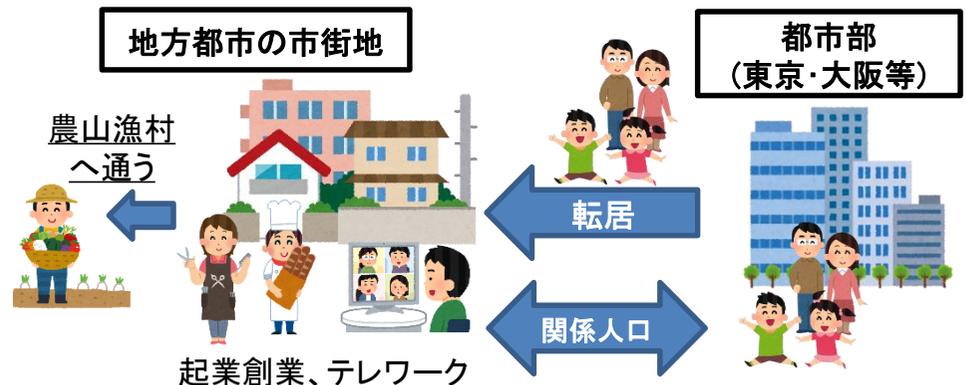
<住まい>

空家バンク物件(一軒家)
+ アパート等の民間賃貸不動産 (※賃貸への支援は想定していない)

<支援策>…移住後の生活設計が可能となる受け皿づくり

- ・地域の特色(移住促進テーマ)を打ち出したプロモーション
- ・移住希望者と地域のマッチング強化
- ・市町村による仕事づくり、関係人口の取込みに対する支援

追加





もうひとつの京都を体験し関わる人を増やす取組

▶平成18年 田舎暮らし移住(田園回帰)の支援スタート

「京の田舎ぐらし・ふるさとセンター」を(一社)京都府農業会議に設置、移住相談に対応し、地域の担い手確保の取組を開始

▶平成28年 「もうひとつの京都」スタート

広域的に地域のコンセプトを明確にした「海の京都」、「森の京都」、「お茶の京都」、「竹の里・乙訓」をエリア設定し、京都のブランド力を生かしながら、地域の資源を磨き上げ、地域が一体となった観光地域づくりを開始

▶令和4年 「移住するなら京都」スタート

「京の田舎暮らしふるさとセンター」から「京都府移住センター」に名称変更し、情報発信拠点化。移住者だけではなく、大学生や企業等も含めた関係人口へのサポートについての取組を開始

■海・森・お茶のDMOの取組

- 地域体験活動の紹介 (パッケージツアー対応)
- 交流・関係人口の拡大

大阪圏



コンシェルジュ
大阪窓口

■各広域振興局の取組

- 移住セミナー
- 移住体感ツアーの開催 等



海の京都



森の京都



竹の里・乙訓



お茶の京都

京都市

情報発信拠点

京都府移住センター

075-441-6624

f-center@kyoto-iju.jp



■情報発信拠点の取組

- 窓口における相談対応
- 移住・関係人口イベントの開催
- 移住・定住情報サイト運営
- Youtube動画公開
- SNS発信 など



京都で
生きる

東京圏



コンシェルジュ
東京窓口

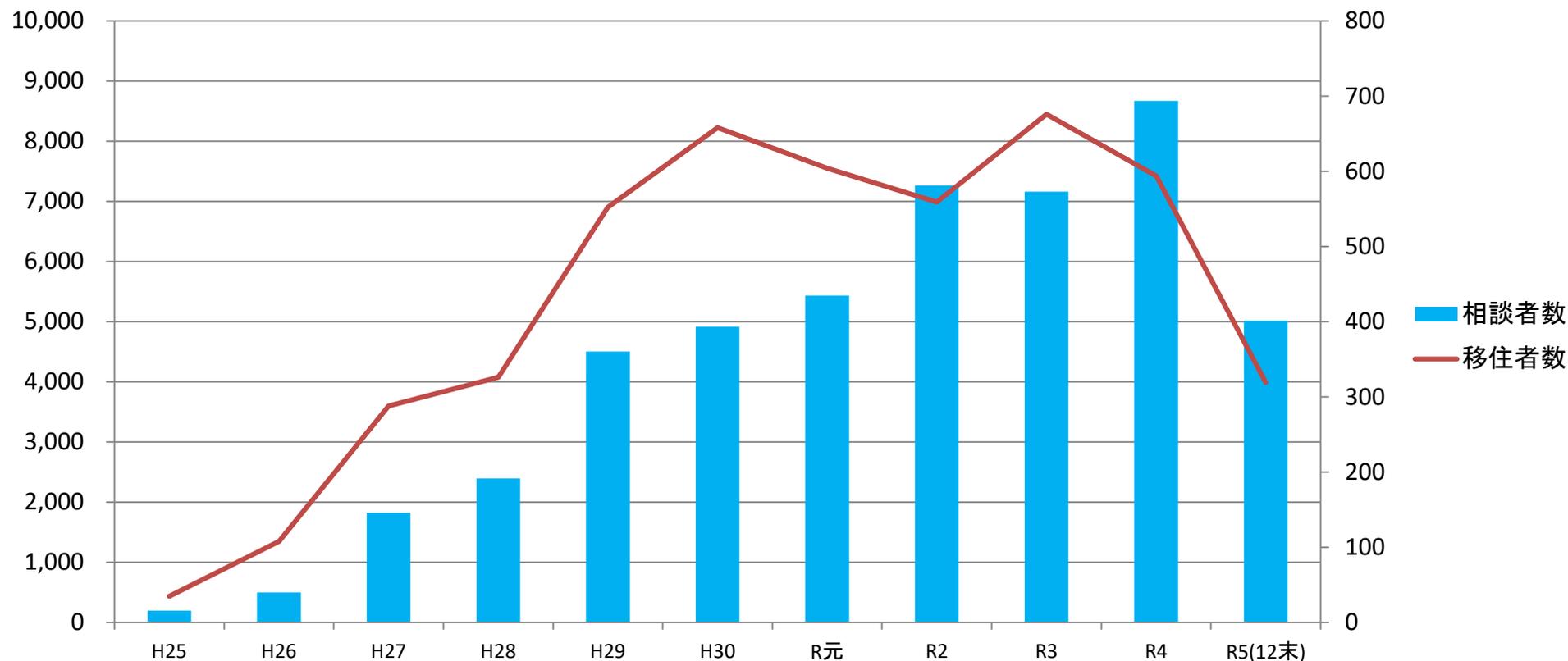


京都府
東京事務所

京都ファンミーティング開催
による京都好きコミュニティ



移住者数・移住相談者数の推移



年度	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5.12末 (2023)
移住相談者数 (市町村窓口含む)	1,824	2,395	4,506	4,916	5,434	7,262	7,163	8,673	5,020
移住者数	288	326	552	658	604	559	676	594	319



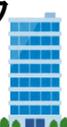
移住・定住へのフォローアップ強化について【京都府の取組】

**移住促進特別区域を拡大(都市部、人口増加地域以外は取組可能)
+ 移住者や関係人口が「活躍できる＝地域で交流できる」機会の創出**

【移住者受入・活躍応援拠点の整備支援】

市町村が移住促進特別区域内に設置する拠点において、移住促進や関係人口創出と連動した地域づくりを行う場合、ハード整備や拠点を活用したソフト事業を支援

想定

パターン	拠点	移住者	関係人口、企業等	ソフト事業
起業・創業	商店街内 空き店舗 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での起業希望者 ・地域企業との連携希望者 	<ul style="list-style-type: none"> ・起業する地域を探している者 ・都市部大学生等 	<ul style="list-style-type: none"> ・起業者同士の勉強会 ・地域企業とのコラボ促進イベント
子育て	子育て交流 施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然環境の中での子育てを希望する家族 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援、教育事業者、団体等 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子育て世帯との交流促進イベント ・周辺農村部を舞台とする自然体験イベント
新しい働き方	コワーキング、 テレワーク 施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・テレワーク移住者 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーケーション、企業研修で訪れる社員 ・副業、兼業人材 ・都市部企業、大学 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設入居者同士の交流イベント ・企業等研修の実施

【アウトリーチ型マッチングの展開】

- ・先輩移住者ネットワークの構築(移住者等と地域をマッチングさせる核づくり)
- ・地域外の大学生や企業と交流を希望する地域との関わり強化(地域体験などを支援)



条例改正後の移住促進特別区域の指定等について【京都府の取組】

移住促進特別区域(右図の緑色地域)

＜指定済区域数 16市町村118地区＞

- ・丹後地域 32地区
- ・中丹地域 34地区
- ・南丹地域 37地区
- ・京都市・乙訓 6地区
- ・山城地域 9地区

応援計画策定地域(右図の太枠地域)

＜応援計画策定地域数 9市11計画＞

- ・宮津市1計画、綾部市2計画(R4年度認定)
- ・南丹市1計画(R5年12月15日認定)
- ・福知山市1計画、舞鶴市2計画、亀岡市・京丹後市・京丹波町・与謝野町1計画(R6年3月26日認定)

R5移住関係支援事業等の状況

＜登録空家の件数＞

231件(内まちなか8件) R4: 231件(内まちなか12件)

＜移住促進住宅整備事業＞

94件(内まちなか3件) R4: 73件(内まちなか1件)

＜空家流動化促進事業＞

70件(内まちなか1件) R4: 73件(内まちなか0件)

新規

京丹後市：
若者や女性など多様なプレイヤーによる地域活動活性化計画

R6.3.26時点

新規

与謝野町：
道の駅「シルクのまちかや」
を拠点とした地域づくり計画

宮津市：
“まちなか” エリアを核とした
「若者に選ばれる」まちづくり計画

新規

福知山市：
「いなか暮らし起業」を
実現できるまちづくり

新規

舞鶴市：
協働で持続可能な大浦を目指す移住
促進プロジェクト

綾部市：
都市農村交流体験プログラムを通じた
地域活性化(再生)計画

新規

舞鶴市：
住民が輝く持続可能な地域の形成計画

綾部市：
移住者等との協働による「水源の里」
ブランディング強化計画

新規

南丹市：
農のある暮らしを継承する
まちづくり計画

新規

京丹波町：
地域資源・魅力を活用した関係人口
創出から繋げる移住促進計画

新規

亀岡市：
レジリエントで持続可能な地域づくり計画



移住者検討者と地域住民・地域企業との関わりの創出

～令和5年度 お試し就業事業～

【京都府の取組】

目的

京都府への移住を検討している方や、これまで培ったスキルを用いて地域で仕事をしたい（副業含む）と考える都市部住民の方に対し、府内企業や地域プロジェクト等に継続的に関わることができるプログラムを提供することで、参加者の移住や、関係人口となることの検討につなげるとともに、新たな働き方を提案するプログラムを実施していることのPRを行うことによって更なる移住者の呼び込みを目指す。

今年度17人の方が
現地プログラムに参加！

新規事業コース

企業の特徴や課題に密着し、経験やスキルを活かした課題解決の提案や、企業や地域との多様な関わり方を見つけていくコース



職住体験コース

地域での仕事や暮らしを立体的に体験しながら、将来的な移住やUターンを見据えて継続的な関わりの一歩を作っていくコース



ゆう薬局 エリア | 京丹後市



地域で愛される薬局を目指して、地域との交流を深める取り組みに積極的な保険薬局です。



エリア | 宮津市
ハマカゼプロジェクト株式会社

道の駅「海の京都 宮津」を運営。宮津のプレイヤーや生産者との交流も盛んです。

京都府漁業協同組合 エリア | 舞鶴市



京都府の海を守る漁協。水産物の地域ブランド化はじめ、漁業の持続的な発展を目指して事業拡大を図っています。

エリア | 与謝野町

株式会社 加悦ファーマーズライズ

与謝野町産米を100%使用した商品の製造、販売を手がける。地域の農家を守る第3セクター企業。



エリア | 綾部市

二王の栖(志摩機械)

空き家を活用した地域の交流拠点。カフェ運営や、自然体験コンテンツの企画等に取り組んでいます。



エリア | 舞鶴市

有限会社 三葉商事

クライアントの個性や価値表現を大切にしている刺繍の技術集団。自社製品の企画販売にも注力しています。



KYOTO LOCAL

京都 ローカルワークステイ

KYOTO LOCAL WORK STAY

京都ローカルで働く・暮らす・関わりを見つけるプログラム

WORK STAY



今年は2コース！

新規事業コース

職住体験コース

参加フロー



説明会に参加



エントリー



オンライン面談

エントリー後は
フロントリール後の

STEP00 STEP01 STEP02 STEP03

説明会1

地域企業で働く・関わるを見つけるプログラム

～京都ローカルワークステイ募集説明会～

日時 8/8 (火) 19:30-21:00

会場 オンライン (zoom)

株式会社ローカルフラッグ
鍼灸qitrip宮津 高橋 友樹さん
京都ローカルワークステイ参加者
池田さん

説明会2

京都ローカルで始める私の移住計画

～京都ローカルワークステイイベント～

日時 8/24 (木) 19:00-21:00

会場 移住・交流情報ガーデン

京都ローカルワークステイ参加者
平田さん(東京→綾部移住・志摩機械)
松坂さん(東京→与謝野移住計画中)

説明会3

京都ローカルワークステイオープンディ&オンライン相談会

～京都ローカルワークステイイベント～

日時 9/8 (金)

イベント① 16:00-19:00

会場 QUESTION 5F
京都府中京区河原町通御池下る下丸町 390-2
イベント② 20:00-21:00
会場 オンライン (zoom)

※説明会日程の都合が合わない場合は、個別対応も可能なため、まずはお問合せ下さい。



企業との交流会



マッチング



参加者顔合わせ



現地プログラム



継続的な関わり

STEP04 STEP05 STEP06 STEP07 STEP08



移住者検討者と地域住民・地域企業との関わりの創出

～令和5年度 アウトリーチ型マッチング 事業～

【京都府の取組】

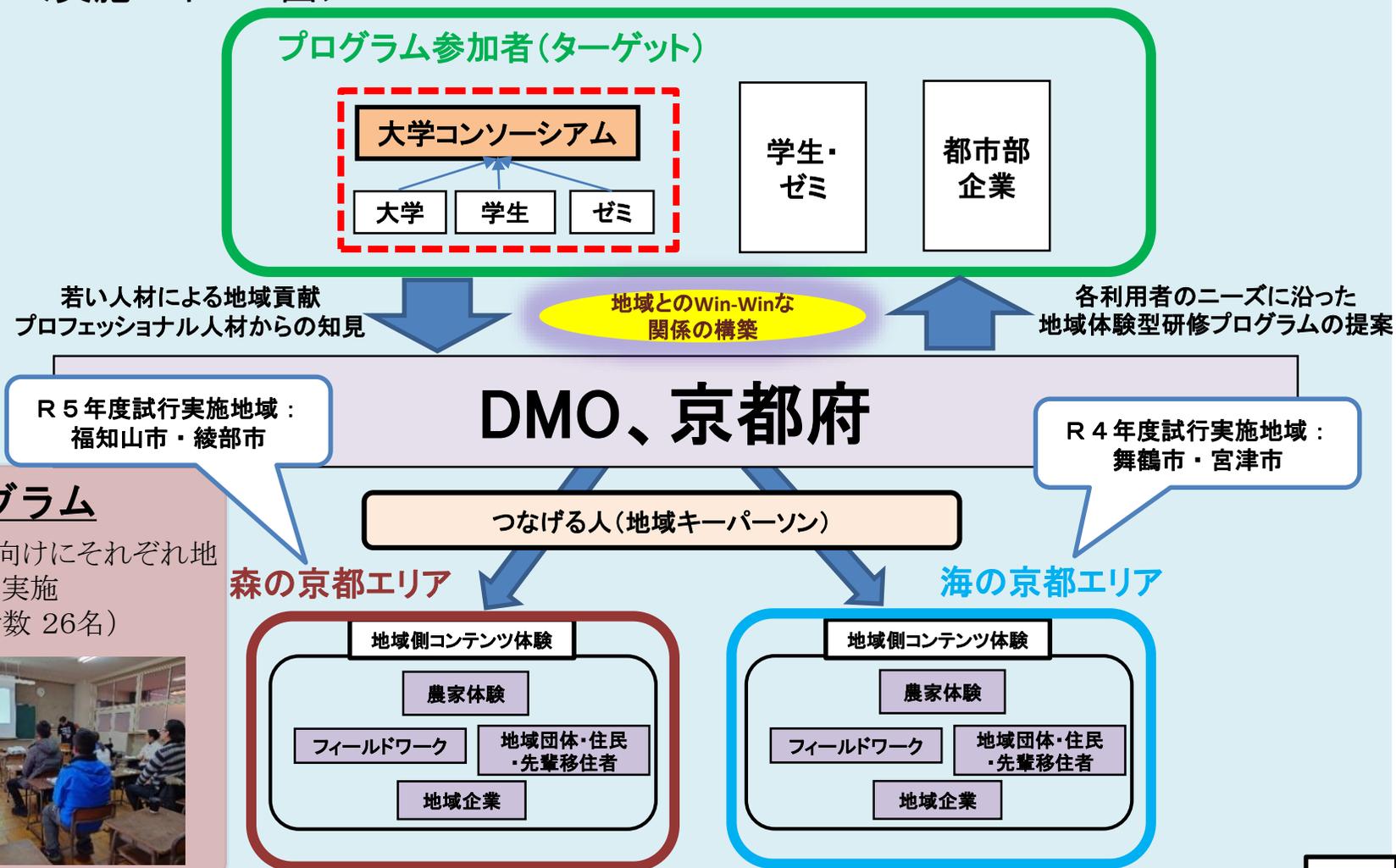
1 目的

先輩移住者や地域活性化に取り組むキーパーソン等、地域プレーヤーによる受入ネットワークを整備し、当該受入ネットワークを核とした大学・企業向けの地域体験プログラム等の研修コンテンツを開発し実施することにより、地域内で活動する関係人口の創出を行い、参加者の移住の検討につなげるとともに、関係人口の取込による地域振興を目指す。

2 実施内容

- (1) 京都府・DMOと地域キーパーソンが連携し、魅力ある地域体験型研修プログラムを開発
- (2) 都市部の大学や企業等に対して、(1)で開発したプログラムを提案、試行実施
- (3) 成果報告会において、(2)の試行を通じた課題の洗い出し・改良を実施

<実施スキーム図>



地域体験型研修プログラム

地域活動に関心のある学生・企業向けにそれぞれ地域体験型ツアーコンテンツを開発・実施 (R5年度実績:計4回開催 参加者数 26名)





首都圏在住者に対する京都府域の魅力発信、関係人口の創出促進 ～令和5年度「京都ファンミーティング」～

【京都府の取組】



京都ファンミーティング

京都が好きで、何かしら関わってみたいと思っている方向士の交流の場、京都ファンミーティング。今回は京都での飾らない暮らしの魅力、京都人の日常について知り、京都暮らしの可能性を探る機会となっています！

イベント内容

- ・京都暮らしの魅力についてのゲストトーク
- ・参加者とゲストの交流会



京都在住のゲストと交流！



小原亜紗子さん
まちの小さな不動産屋さん

南知明さん
人と地域をつなぐ案内人

- 日時：2024年3月24日（日）13:00～16:00
（開場12:30～ 15:00以降は随時解散OK）
- 会場：移住・交流情報ガーデン
（東京都中央区京橋1丁目1-6 越前屋ビル1F）



こちらのサイトからお申込みください。
https://www.kyoto-iju.jp/event_44877/

【問い合わせ】
京都移住コンシェルジュ 担当：三野
E-mail：f-center@kyoto-iju.jp

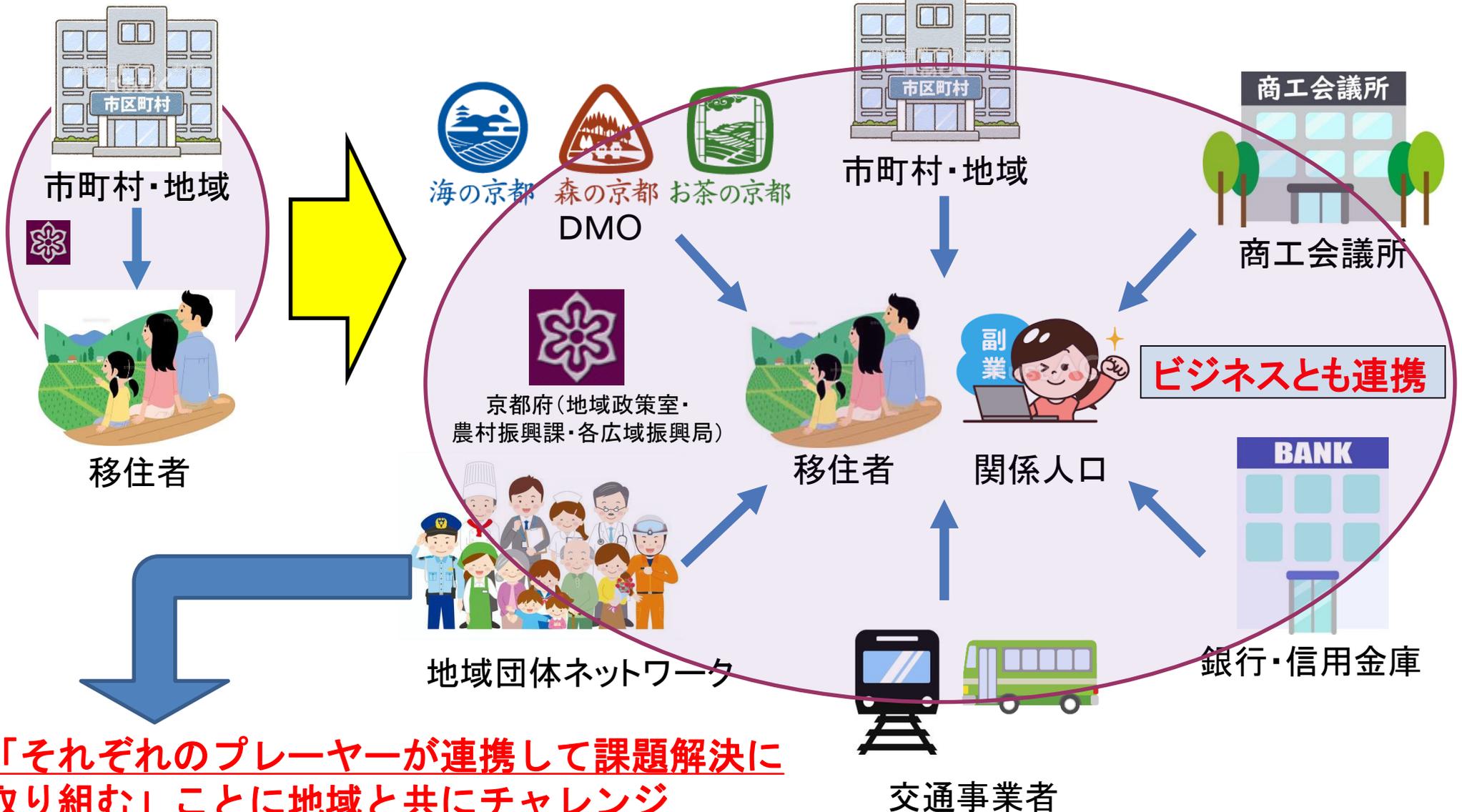
主催：京都府移住センター 協力：京都府・京都市
企画・運営：京都府移住センター（京都移住コンシェルジュ）
京都ジョブパークUJターンコーナー



更なる移住・定住の促進、移住者等と地域との関係づくりに向けて

条例改正前

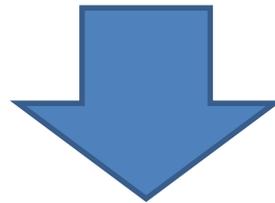
条例改正後



**「それぞれのプレイヤーが連携して課題解決に取り組む」ことに地域と共にチャレンジ
→次なる移住（＝活性化）につながる好循環を！**

「移住するなら京都」の実現

引き続き、住民が「新しく訪れる移住者や関係人口と地域づくりに取り組みたい」と希望する地域と移住等希望者のマッチングを進め、実現できるライフスタイルの種類を増していく。



「移住先を探すなら京都で！」と言われる京都を目指す！

ご静聴ありがとうございました。